

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	国語	科目名	必修	履修	国語総合	単位数	4	担当者名
教科書	高等学校 改訂版 新訂国語総合現代文編・古典編(第一学習社)								
副教材	新訂国語図説五訂版、イラストで覚えるLook@古文単語337、読解を大切にす要点プラス体系古典文法、意味で覚える漢字トレーニング								

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	現代文 4～5	評論「水の東西」 中間考査	○序論、本論、結論に分け、筆者の主張を理解することができる	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	48
	6～7	小説「羅生門」 期末考査	○登場人物の心情の変化を読み取ることができる ○心情が変化した理由を読み取ることができる		
	古典 4～5	歴史的仮名遣いと現代仮名遣い 百人一首を通して古典に親しむ 中間考査	○文語のきまりを知り適切に音読でき ○歴史的仮名遣いを正しく音読できる。		
	6～7	宇治拾遺物語「児のそら寝」 宇治拾遺物語「絵仏師良秀」 期末考査	○物語の内容を把握でき、登場人物の心情変化を捉えることができる。		
2学期	現代文 9～10	評論「「本当の自分」幻想」 詩「I was born.」 中間考査	○筆者の主張を理解することができる ○表現やリズムに即して詩を味わうことができる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	56
	11～12	小説「鏡」 期末考査	○内容から登場人物の心情を考察することができる		
	古典 9～10	物語を読む 「伊勢物語」「平家物語」など 活用のある語 中間考査	○物語の内容を把握でき、登場人物の心情変化を捉えることができる。 ○文語のきまりや訓読のきまりに注意しながら語句や表現に即して読み取ることができる。 ○作品の概要や構成について知る。 ○用言の活用、係り結び、呼応関係を理解する。		
	11～12	随筆や説話を読む 「徒然草」など 活用のある語 期末考査			
3学期	現代文 1～3	小説「城の崎にて」 評論「自律という虚構」	○作者について興味を持ち、作品を読むことができる ○筆者の主張を理解することができる	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	36
	古典 1～3	漢文 訓読に親しむ 故事成語、史伝、漢詩など	○中国の文字や書物、基本的な故事成語を知る。 ○訓点、再読文字など、基本的なものを知り、訓読したり、書き下し文になおしたりできる。 ○物語の内容を把握でき、登場人物の心情変化を捉えることができる。 ○作品の概要や構成について知る。		

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科 科名	地理歴史科	科 目 名	必履修 世界史B	単 位 数	3	担当者名
教科書	世界史B 新訂版(実教出版)						
副教材	歴史風景館 世界史のミュージアム(とうほう)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	世界史への扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史を学ぶ意義を理解する。</li> <li>・これから世界史Bを学ぶうえでの基礎知識(年代の表し方等)を理解する。</li> </ul>	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	36
	4・5	ヨーロッパの海外進出	大航海時代が始まった要因と、各地与えた影響について理解する。		
	5・6	ルネサンスと宗教革命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンスが広まった要因について理解する。</li> <li>・宗教改革が起こった要因について理解する。</li> </ul>		
	6・7	アジア諸地域の帝国	アジアの諸地域に各帝国が成立した要因について理解する。		
2 学期	9	イギリス産業革命	イギリス産業革命における世界的な背景や繊維部門の技術革新や産業資本主義の確立を知るとともに、人々の生活の変化や世界の一体化が進展したことについて理解する。	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	42
	9	アメリカ独立戦争	18世紀における経済的変化や啓蒙思想を背景に、アメリカ独立革命が起こり、その結果としてアメリカ合衆国に近代民主主義社会の基礎が成立したこととその限界を知る。		
	9	フランス革命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス革命が起こった要因と変遷、ヨーロッパ各地に及ぼした影響について、多面的・多角的に理解する。</li> <li>・ナポレオン台頭後の歴史と、ヨーロッパ各地に及ぼした影響について理解する。</li> </ul>		
	9・10	ウィーン体制	ウィーン体制の理念と性格、ヨーロッパ各国に与えた影響について理解する。		
	10	帝国主義の始まり	帝国主義が始まった要因と帝国主義の内容について理解する。		
11・12	アフリカ分割とインド・東南アジアの植民地化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカがヨーロッパ各国に占領されていく過程と、それに伴うヨーロッパ各国の関係性の変化について理解する。</li> <li>・インド、東南アジアが植民地化されていく過程について理解する。</li> </ul>			

	12	日本の明治維新と日清・日露戦争	19世紀～20世紀における日本の歩みを、世界の動きの中で理解する。		
3 学 期	1	第一次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の勃発に至る経緯について理解する。</li> <li>・第一次世界大戦が総力戦としての性格を帯びた戦争であったことを理解する。</li> </ul>	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	27
	1・2	ヴェルサイユ体制と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴェルサイユ体制の理念について理解する。</li> <li>・ヴェルサイユ体制下におけるヨーロッパ各国の動きについて理解する。</li> <li>・第一次世界大戦後における、アジア諸国の民族運動の変遷と結果について理解する。</li> </ul>		
	2	世界恐慌とファシズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌の要因とその影響について理解する。</li> <li>・世界恐慌の影響を強く受けた国々の対応からファシズムの台頭までの流れについて理解する。</li> </ul>		
	2・3	第二次世界大戦と日中戦争	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦勃発の要因と戦争の性格について理解する。</li> <li>・日本が中国と戦争になった要因と、日中戦争の内容について理解する。</li> <li>・第二次世界大戦の戦後処理の内容と、米ソ対立の萌芽について理解する。</li> </ul>		

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	数学	科目名	必履修 数学 I	単位数	3	担当者名
教科書	改訂版 高等学校 数学I (数研出版)						
副教材	改訂版 教科書傍用 基本と演習 テーマ数学 I + A (数研出版)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	第1章 数と式 第1節 式の計算 (1)整式の加法と減法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次数、係数、定数項などの意味を理解して見つけ出せる。</li> <li>・多項式の加法と減法を、符号に気をつけて行える。</li> <li>・指数法則を理解し演算ができる。</li> <li>・分配法則と展開の公式を使うことができる。</li> <li>・置き換えなど、工夫して展開ができる。</li> <li>・展開の逆を行うことを理解して、因数分解ができる。</li> <li>・置き換えやたすきがけを使って因数分解ができる。</li> <li>・3次式の展開、因数分解ができる。</li> <li>・自然数、整数、有理数、無理数の包含関係から、実数の構成を理解できる。</li> <li>・絶対値の計算ができる。</li> <li>・根号を含む計算を行う際、数値条件などを理解した上で解くことができる。</li> <li>・分母が根号を含む多項式であっても有理化することができる。</li> <li>・求める式に合わせて値を変形できる。</li> <li>・文章を読み取り、イコールの有無を判断できる。</li> <li>・不等式の性質を理解して四則演算ができる。</li> <li>・方程式と同じように移項を用いれば不等式を解けることを理解できる。</li> <li>・負の乗除に対して、不等号を逆にできる。</li> <li>・2つ以上の範囲を合わせることができる。</li> <li>・文章題に合わせた式を作成できる。</li> <li>・絶対値の不等式を等号、不等号の3つのパターンで場合分けして、絶対値を外した状態で表すことができる。</li> <li>・部分集合、空集合、補集合などの意味を理解することができる。</li> <li>・<math>\cap</math>、<math>\cup</math>の意味を理解し、含まれる要素の個数をそれぞれ計算できる。</li> <li>・ド・モルガンの法則を理解できる。</li> <li>・真偽を判定し、偽の場合は反例を挙げることができる。</li> <li>・必要条件と十分条件を理解し、命題に対して条件の判定ができる。</li> <li>・「かつ」「または」という日本語を否定することができる。</li> <li>・命題とその対偶は必ず真偽が一致することを理解できる。</li> <li>・対偶を用いて証明ができる。</li> <li>・背理法を用いて証明ができる。</li> </ul>	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査 上記等を総合的に判断し、知識・技能・関心・意欲・態度を評価する。	36
	5	(2)整式の乗法 単項式の乗法,展開,展開の工夫 (3)因数分解 因数分解,因数分解の工夫,3次式の因数分解 第2節 実数 (4)実数 数直線と絶対値 (5)根号を含む式の計算 根号の計算,分母の有理化,式の値			
	6	第3節 1次不等式 (6)不等式の性質 (7)1次不等式 連立不等式,1次不等式的应用 (8)絶対値を含む方程式・不等式			
	7	第2章 集合と命題 (1)集合 (数学Aの内容の復習) ※集合の要素の個数 (2)命題と条件 必要条件・十分条件 (3)命題と証明			
	9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ (1)関数とグラフ (2)2次関数のグラフ $y=a(x-p)^2+q$ ; 2次関数のグラフ, $y=ax^2+bx+c$ 第2節 2次関数の値の変化 (3)2次関数の最大・最小, 2次関数の最大・最小, 定義域を含む最大・最小 (4)2次関数の決定 頂点や軸から決定, 3点から決定 第3節 2次方程式と2次不等式 (5)2次方程式 解の公式, 2次方程式, 係数と実数解 (6)2次関数のグラフとx軸の位置関係, 2次関数のグラフとx軸の位置関係, グラフとx軸の共有点の個数 (7)2次不等式 1次不等式と1次関数, 2次不等式と2次関数, 2次不等式, 2次不等式の解き方, 2次不等式, 2次不等式的应用, 連立不等式			
	10	第4章 図形と計量 第1節 三角比 (1)三角比 三角比の表, 三角比の応用 (2)三角比の相互関係			
	11	(2)三角比の拡張 筆式を満たすA			
2 学期	9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ (1)関数とグラフ (2)2次関数のグラフ $y=a(x-p)^2+q$ ; 2次関数のグラフ, $y=ax^2+bx+c$ 第2節 2次関数の値の変化 (3)2次関数の最大・最小, 2次関数の最大・最小, 定義域を含む最大・最小 (4)2次関数の決定 頂点や軸から決定, 3点から決定 第3節 2次方程式と2次不等式 (5)2次方程式 解の公式, 2次方程式, 係数と実数解 (6)2次関数のグラフとx軸の位置関係, 2次関数のグラフとx軸の位置関係, グラフとx軸の共有点の個数 (7)2次不等式 1次不等式と1次関数, 2次不等式と2次関数, 2次不等式, 2次不等式の解き方, 2次不等式, 2次不等式的应用, 連立不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義域、値域を理解し、あるグラフの最大値と最小値を求めることができる。</li> <li>・座標平面上にグラフを書くことができる。</li> <li>・頂点、軸を理解し、求めることができる。</li> <li>・<math>p</math>と<math>q</math>の変化によってどのようにグラフが動くのかを考察できる。</li> <li>・<math>y=ax^2+cx+c</math>を平方完成し、<math>y=a(x-p)^2+q</math>の形に変形することができる。</li> <li>・放物線を平行移動した後の式を導くことができる。</li> <li>・最大値と最小値の有無を判断して、求めることができる。</li> <li>・定数<math>c</math>などの未知数を、頂点や軸から求めることができる。</li> <li>・定義域が決められた場合でも最大値と最小値を求めることができる。</li> <li>・文章題から2次関数を作りだし、最大値や最小値を求めることができる。</li> <li>・頂点や通る点などの手がかりを使って、放物線の式を決定できる。</li> <li>・通る3点を用いてグラフを決定するために、連立3元1次方程式を解くことができる。</li> <li>・<math>y=0</math>のときにx軸との共有点になることを理解し、求めることができる。</li> <li>・解の公式と判別式を理解することができる。</li> <li>・判別式と係数によって、実数解の個数を判別することができる。</li> <li>・2次関数の中に未知数<math>m</math>が入ったときでも、条件と判別式から求めることができる。</li> <li>・係数<math>a, c, e</math>のそれぞれの役割と、グラフの位置関係をつなげて理解することができる。</li> <li>・判別式と関連させて、共有点の個数を調べることができる。</li> <li>・2次関数の中に未知数<math>m</math>が入ったとき、<math>m</math>の範囲を場合分けしてそれぞれの範囲での共有点の個数を求めることができる。</li> <li>・グラフと不等式を重ね合わせて考察することができる。</li> <li>・x軸を基準にして不等式を考えることを理解できる。</li> <li>・イコールの有無や不等号の向きによって、答え方が変わることを理解し、解くことができる。</li> </ul>	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査 上記等を総合的に判断し、知識・技能・関心・意欲・態度を評価する。	42
	10	第4章 図形と計量 第1節 三角比 (1)三角比 三角比の表, 三角比の応用 (2)三角比の相互関係			
	12	(2)三角比の拡張 筆式を満たすA			

3 学 期	1	<p>180° までの相互関係第2節 三角形への応用</p> <p>(4)正弦定理 (5)余弦定理 (6)正弦定理と余弦定理の応用</p>	<p>解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・sin,cosのとり得る範囲を理解できる。</li> <li>・三角比の値を満たす<math>\theta</math>を求められる。・正弦定理を理解することができる。</li> </ul>	<p>ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査</p> <p>上記等を総合的に判断し、 知識・技能・関心・意欲・態度を 評価する。</p>	27
	2	<p>(7)三角形の面積 (8)空間図形への応用</p> <p>第5章 データの分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺や角度を、正弦定理によって求めることができる。・余弦定理を理解することができる。</li> <li>・辺や角度を、余弦定理によって求めることができる。・どの場面で正弦定理、余弦定理が使えるのかを判断できる。</li> </ul>		
	3	<p>(1)データの整理 (2)データの代表値 (3)データの散らばりと四分位数 (4)分散と標準偏差</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・sinを使った新しい面積の公式を使うことができる。</li> <li>・三角形の内接円の半径を求められる。</li> <li>・立体的に図形を把握し、必要な定理を使って辺や角度を求められる。・データを分析し、度数分布表やヒストグラムに表現できる。</li> <li>・平均値、最頻値、中央値を理解し、求めることができる。・範囲、四分位数などの意味を理解し、求めることができる。</li> <li>・箱ひげ図を作成できる。</li> <li>・分散と標準偏差を計算によって求めることができる。</li> </ul>		

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	数学	科目名	学校必履修 数学A	単位数	2	担当者名
教科書	数研出版 高等学校 数学A						
副教材	数研出版 テーマと演習 数学 I + A						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	集合の要素の個数	集合の基本的考え方を理解させる	主たる評価は定期考査により行う 関心・意欲・態度を総合的に評価に加える 適宜課題を与え評価に加える	24
	4	倍数の個数・集合の応用	整数の数え方の基本を理解させる		
	4	場合の数	樹形図を正確に作成させる		
	4	和の法則・積の法則	和・積の法則の違いを理解させる		
	4	約数の個数・順列	素因数分解の利用法を理解させる		
	5	順列の計算	並べる場合の数の考え方を理解させる		
	5	円順列・重複順列	色々な順列の考え方を理解させる		
	6	組合せ	順列との違いを理解させる		
6	組合せの計算	計算の工夫をして早く正確に計算させる			
6	同じものを含む順列・重複組合せ	色々な組合せの考え方を理解させる			
7	事象と確率	場合の数を求めることの大切さを理解させる			
2 学期	9	確率の基本性質	確率の基本的考え方を理解させる	主たる評価は定期考査により行う 関心・意欲・態度を総合的に評価に加える 適宜課題を与え評価に加える	28
	9	加法定理・余事象の確率	確率の計算方法を理解させる		
	9	独立試行の確率	独立と従属の違いを理解させる		
	10	反復試行の確率	同じ試行の繰り返しについて理解させる		
	10	条件付き確率	条件に付いて理解させる		
	10	三角形の辺の比	三角形の基本的な性質を理解させる		
	11	三角形の五心	五心のうち内心・外心・重心を扱う		
	11	チェバ・メネラウスの定理	定理の覚え方と使い方を理解させる		
	11	内接四角形の性質	円周角と内接四角形の性質を理解させる		
	11	接弦定理	円と接線の関係を理解させる		
	11	方冪の定理	相似な図形と方冪の関係を理解させる		
	12	2つの円	2円の位置関係とその性質について理解させる		
12	空間図形の性質	空間図形を平面図形で考察できる			
12	オイラーの多面体の定理	全ての多面体で成り立つことを理解させる			
12	約数・倍数	倍数の判定法を理解させる			
3 学期	1	素因数分解	素因数分解の一意性を理解させる	主たる評価は定期考査により行う 関心・意欲・態度を総合的に評価に加える 適宜課題を与え評価に加える	18
	1	最大公約数・最小公倍数	素因数分解との関係を理解させる		
	1	割り算と余り	整数同士の割り算の仕組みを理解させる		
	1	余りによる整数の分類	剰余性を理解させる		
	2	ユークリッドの互除法	互除法の仕組みを理解させる		
	2	1次不定方程式	不定方程式の解の求め方を理解させる		
	2	合同式	不定方程式と合同式を繋げて理解させる		

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	理科	科目名	必修 化学基礎	単位数	2	担当者名
教科書	『実教出版 化学基礎 新訂版』						
副教材	『実教出版 サイエンスビュー 化学総合資料』 『第一学習社 セミナー化学基礎+化学』						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定
1 学期	4	物質の構成 純物質と混合物	物質が原子, イオン, 分子から構成されていることを理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現	24
	5	物質の構成粒子 原子の構造と電子配置 イオン 元素の周期表	構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	観察・実験の技能 知識・理解	
	6	化学結合 イオン結合	イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し, イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。	ノート 定期考査 実験レポートなど	
		共有結合	共有結合を電子配置と関連付けて理解し, 分子からなる物質の性質を理解する。分子間の結合によって物質ができていることを理解する。		
		金属結合	金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。		
	7	物質の分類と融点	物質の結晶を、結合の違いによって区別し、性質を整理する。		
	2 学期	9	物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を理解する。	
10		物質量 化学反応式と化学変化の量的関係	物質量と溶液の濃度の関係を理解する。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	思考・判断・表現 観察・実験の技能	
11		酸と塩基 酸と塩基	水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係およびpHについて理解する。	知識・理解	
		水の電離とpH		ノート	
		酸・塩基の中和反応の量的関係	酸と塩基の性質と, 中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	定期考査	

	12	<p>酸・塩基の中和と塩 酸化還元反応</p> <p>酸化と還元の定義</p> <p>酸化数 酸化剤と還元剤</p>	<p>酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。</p>	<p>実験レポートなど</p>	28
3 学期	1  2  3	<p>金属の酸化還元反応 酸化還元反応の量的関係 金属のイオン化傾向</p> <p>電池</p> <p>ダニエル電池 鉛蓄電池 燃料電池</p> <p>電気分解 電気分解と量的関係</p>	<p>酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断・表現 観察・実験の技能</p> <p>知識・理解</p> <p>ノート 定期考査 実験レポートなど</p>	18



# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	理科	科目名	必履修	生物基礎	単位数	2	担当者名
教科書	改訂 生物基礎(東京書籍)							
副教材	ニューステージ生物図表(浜島書店) コンセプトノート生物基礎(浜島書店)							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	1 生物の特徴 (1) 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学までの既習事項の確認</li> <li>・全ての生物は共通の祖先を持つこと、生物は多様でありながら共通性をもっていることを知り、共通する点を挙げることができる。</li> <li>・細胞が生命の基本単位であること及び原核生物と真核生物の存在を知り、その構造上の違いを理解する。</li> <li>・真核細胞内の主な細胞小器官を挙げることができる。</li> <li>・動物細胞と植物細胞で異なっている部分を挙げることができる。</li> <li>・生命活動でエネルギー物質はATPであることを理解する。</li> <li>・光合成では光エネルギーを用いて有機物が作られ、呼吸では有機物からエネルギーが取り出されることを理解する。</li> <li>・共生説について理解する。</li> <li>・DNAが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを理解する。</li> </ul>	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	24
	5	中間考査			
	6	(2) 生命活動とエネルギー			
	7	期末考査 2 遺伝子とそのはたらき (1) 生物と遺伝子			
2 学期	9	(2) 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAは4種類の塩基の配列でできており、二重らせん構造であることを知る。</li> <li>・体細胞分裂の過程を知り、間期にDNAの複製が起こることや分裂前後で遺伝情報が変化しないことを理解する。</li> <li>・体細胞分裂の際の染色体の動きやDNA量の変化を説明する。</li> <li>・DNAの遺伝情報はRNAを経て、タンパク質となることを理解する。</li> <li>・生命現象がタンパク質の働きで行われていることを知る。</li> <li>・生体内では、どこでどのようなタンパク質が働いているかを知る。</li> <li>・体内環境が一定に保たれていることを理解する。</li> <li>・体液により体内環境が作られていることを理解する。</li> <li>・血液の成分を挙げ、各血球と血しょうの働きが説明できる。</li> <li>・心臓の構造を理解し、動脈と静脈の違いを挙げることができる。</li> <li>・肝臓や腎臓の主なはたらきを知り、体内環境の維持に重要であることを理解する。</li> </ul>	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	28
	10	中間考査			
	11	(3) 遺伝情報とタンパク質の合成			
	12	3 生物の体内環境の維持 (1) 体内環境 期末考査			
3 学期	1	(2) 体内環境を維持するしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律神経の違いを理解し、それらが拮抗的に働くことを理解する。</li> <li>・ホルモンが体内環境の調節に働く物質であることを理解し、主なホルモンの分泌腺とその働きを挙げることができる。</li> <li>・血糖値の調節について、自律神経と内分泌腺が協同して調節していることを理解し、調節が上手くいかない病気になることが分かる。</li> <li>・生体防御としての免疫の仕組みを理解し、自然免疫と適応免疫の違いを挙げることができる。</li> <li>・体液性免疫について理解し、その仕組みを利用してワクチンや血清療法が行われていることを理解する。</li> <li>・免疫に関係する病気や疾患がある事を理解する。</li> <li>・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを理解する。</li> <li>・非生物的環境の影響で植生が遷移していくことを理解する。</li> </ul>	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	18
	2	(3) 免疫			
	3	学年末考査 4 生物の多様性と生態系 (1) 植生の多様性と遷移			

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年男子	教科 科名	保健体育	科 目 名	必 履 修  体育	単 位 数	3	担当者名
教科書	現代高等保健体育 改訂版						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	36
	5	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	各種目特有の技能を身につける。	【知識・技能】 技能テスト	
		器械運動(マット運動)	基本的な技をできるようにする。	各種計測 練習や試合での成果	
	6	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	記録の向上を図る。	学習ノート	
		器械運動(マット運動) 水泳(クロール・平泳ぎ)	発展技をできるようにする。 基本的な技術を身につける。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察	
7	水泳(クロール・平泳ぎ)	安定したペースで泳ぐことができるようにする。	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
2 学期	9	水泳(クロール・平泳ぎ)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】	42
		球技(バスケットボール)	基礎的な技術を習得する。	出席状況 授業への取り組み・参加態度	
		球技(バレーボール)		【知識・技能】	
	10	武道(柔道)	基本動作・受け身を習得する。	技能テスト	
		球技(バスケットボール) 球技(バレーボール)	集団的技能を習得する。	各種計測 練習や試合での成果	
	11	武道(柔道)	基本となる技を習得する。	学習ノート	
		球技(バスケットボール) 球技(バレーボール)	試合を展開できるようにする。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察	
12	陸上競技(長距離走)	簡易な試合をできるようにする。 基本的な技術を身につける。	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
3 学期	1	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	27
	2	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【知識・技能】 技能テスト 各種計測 練習や試合での成果	
	3	体育理論 (運動・スポーツの文化的特徴)	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。	学習ノート 観察 以上の3つの観点を総合的に判断する。	

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年女子	教科 名	保健体育	科 目 名	必履修  体育	単 位 数	3	担当者名
教科書	現代高等保健体育 改訂版						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	36
	5	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	各種目特有の技能を身につける。	【知識・技能】 技能テスト 各種計測 練習や試合での成果 学習ノート	
		球技(ハンドボール)	基本的な技術を身につける。		
	6	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	記録の向上を図る。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察 以上の3つの観点を 総合的に判断する。	
		球技(ハンドボール)	簡易な試合を展開できるようにする		
水泳(クロール・平泳ぎ)		基本的な技術を身につける。			
7	水泳(クロール・平泳ぎ)	安定したペースで泳ぐことができるようにする。			
2 学期	9	水泳(クロール・平泳ぎ)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 【知識・技能】 技能テスト 各種計測 練習や試合での成果 学習ノート	42
		器械運動(マット運動)	基本的な技を身につける。		
		球技(バレーボール)	基礎的な技術を習得する。		
		球技(バドミントン)	基本的な技術を習得する。		
	10	器械運動(マット運動)	発展した技を身につける。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察 以上の3つの観点を 総合的に判断する。	
		球技サッカー	基本的な技術を習得する。		
		球技(バレーボール)	集団的な技術を習得する。		
		球技(バドミントン)	基本となる技術を身につける。		
11	器械運動(マット運動)	発展した技を安定してできるようにする。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察 以上の3つの観点を 総合的に判断する。		
	球技サッカー	集団的な技術を習得する。			
	球技(バレーボール)	簡易な試合を展開できるようにする			
	球技(バドミントン)				
12	陸上競技(長距離走)	基本的な技術を身につける。			
3 学期	1	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 【知識・技能】 技能テスト 各種計測 練習や試合での成果 学習ノート	27
	2	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察 以上の3つの観点を 総合的に判断する。	
	3	体育理論 (運動・スポーツの文化的特徴)	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。		

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	保健体育	科目名	必修 保健	単位数	1	担当者名
教科書	現代高等保健体育						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	現代社会と健康 1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方 3 健康と意志決定・行動選択 4 健康に関する環境づくり 5 生活習慣病とその予防 6 食事と健康 7 運動と健康 8 休養・睡眠と健康	国民の健康課題や健康の考え方は、変わってきていること。また、健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解できるようにする。 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践が必要であることをわかっているようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	12
	5				
	6				
	7				
	7				
2 学期	9	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 現代の感染症 13 感染症の予防 14 性感染症・エイズとその予防 15 欲求と適応機制 16 心身の相関とストレス 17 ストレスへの対処 18 心の健康と自己実現	喫煙、飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを理解できるようにする。 感染症の予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践し、疾病の早期発見と社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	14
	10				
	11				
	12				
	12				
3 学期	1	19 交通事故の現状と要因 20 交通社会における運転者の資質 と責任 21 安全な交通社会づくり 22 応急手当の意義とその基本 23 心肺蘇生法 24 日常的な応急手当	安全な社会づくりには、環境を整備し、車両の特性を理解したうえで、安全な運転や適切な行動を選択する必要があることを理解できるようにする。 心肺蘇生法を含む応急手当の正しい手順や方法を身につける。また、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	9
	2				
	3				

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	芸術	科目名	音楽 I 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	MOUSA1						
副教材	ジュニアクラスの楽典問題集						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4 5 6 7	1. 校歌 日本や外国の歌曲に親しむ  2. 二部合唱・三部合唱  3. 楽典  4. 鑑賞「ピアノによる表現効果」	1. 発声、フレーズの歌い方などを工夫しながら楽曲にふさわしい表現を追求して斉唱する。  2. 声部の重なり合いを感じ取って演奏する。  3. 音名読み・音部記号リズムと拍子  4. ピアノによる様々な演奏表現を味わいそれぞれの曲の特徴やよさを知る。	授業態度、取り組み 出席状況  学習プリント等提出物  実技テスト (筆記小テスト)	22
2学期	9 10 11 12	1 鑑賞 オーケストラ作品 ミュージカル  2. 楽典  3. ギター  4. 五音音階を用いた創作	1.それぞれの楽器の特徴、楽曲の文化的歴史的な背景や作曲者による表現の特徴を理解する。 物語や登場人物と音楽との結びつきを理解し鑑賞する。  2. 1学期の復習(特にリズム)各種記号等  3. ギターの音色や基礎的な奏法の特徴を生かし独奏する。  4. 音階を選んで旋律を作りそれにもう1つの旋律を作り重ねる。	授業態度、取り組み 出席状況  学習プリント等提出物  実技テスト (筆記小テスト)  創作曲	28
3学期	1 2 3	1. 鑑賞 モーツァルトの生涯と作品をたどる  2. ボディーパーカッション ブリマス・ロック  3. 混声合唱	1 作曲家の生涯をたどりながらそれぞれの作品の特徴を聞き取る。  2. 1・2学期に学んだ楽典の内容や楽曲の特徴を生かし、表現を工夫しアンサンブルの喜びを味わう。  3. 各パートの役割を理解し表現を工夫して合唱する喜びを味わう。	授業態度、取り組み 出席状況  学習プリント等提出物  実技テスト (筆記小テスト)	20

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	芸術	科目名	美術 I 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	高校生の美術 I 日本文教出版						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4 5 6 7	1. 音楽を視覚的に平面構成 音楽を色彩と形で表現してみ る。 2. 立方体 鉛筆デッサン 遠近法の学習	主題に合わせて色を配置する。 色の明度、彩度、色相を正確に理 解し、色の心理的効果について学 ぶ。美的感覚を働かせ技術的表 現にたかめる。遠近法の基礎を学 ぶ。	構想をうまく平面に定 着できたか。構成力が ありプランどおりに彩色 できたか。遠近法につ いて正しく理解できた か。	22
2 学期	9 10 11 12	1. 紙工芸の世界 張り子 2. 木版画の世界	伝統工芸の技法や成り立ちを学 ぶ。題材を木版画の表現に合うよ うに変換する。版画の制作手順と 彫刻刀の使い方を学ぶ。	制作過程を理解し順 序だてて制作している か。張り子としての丈 夫さ美しさをひきだせ たか。 版画技法にそう表現と なっているか。道具を 正しく丁寧に扱ってい るか。画面作りを考え ているか。	28
3 学期	1 2 3	1. 近くて遠い 自画像	解剖学の見方を学び人物の描き 方を理解させる。 立体として捉え陰影やパーツの表 現方法を指導する。	骨格が理解できている か。立体物としてとら えられているか。表面 だけでなく内面までも 表現できているか。	20

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	芸術	科目名	書道 I	単位数	2	担当者名
			必修選択				
教科書	東京書籍 書道 I						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定
1学期	4月	国語科書写から芸術科書道へ ・用具用材の扱い ・姿勢執筆法	・用具用材について知ることで準備や片付けをスムーズにできるように指導する。 ・国語科書写での正しい姿勢と執筆法を確認させる。 ・書く姿勢、腕の構え方、筆の持ち方について、いろいろな方法があることを理解させる。 ・姿勢と執筆法の重要性に気付かせる。	・正しい姿勢と執筆法で書いているか。 ・正しい用筆法で楷書の基本点画を書く事ができているか。 ・手本を分析的に観察し自己の書写能力向上に努めることができたか。 ・それぞれの書風の違いを見分け表現に繋げる事ができたか。	24
	5月	漢字の書・楷書 ・楷書の基本点画・用筆法・結構法	・用筆法を理解させ、改めて基本点画を書かせる。	・それぞれの書風の違いを見分け表現に繋げる事ができたか。 ・唐の四大家について理解できたか。 ・楷書の書体の成立や変遷に興味を持てたか。	
	6月	・楷書の学習(古典の臨書と鑑賞) 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 自書告身	・拓本と臨書について理解させる。 ・分析的な手本の見方を身につかせる。 ・背勢の字形、向勢の字形について理解させ、それが書風の違いに繋がる事に気付かせる。	・手本が無くてもイメージを膨らませ書く事を楽しめたか。	
	7月	牛嶽像造記 ・創作 楷書作品・漢字一字	・唐時代、北魏時代の楷書に触れる事で、漢字の書体の成立と変遷についても意識させる。 ・古典の臨書や鑑賞で培った力を生かし、書表現を楽しむ態度を育成する。	・毎時間ごとの授業態度、提出物で評価します。教科書道具等の忘れ物はしないように。	
2学期	9月	漢字の書・行草書 ・行書の特徴・草書の特徴 ・行草書の用筆と運筆	・一般的に「くずし字」と言われている行書や草書の持つ特徴を具体的に理解させる。 ・楷書に比べて運筆の緩急や抑揚などがはっきりとし、筆路も明確な事に気付かせる。	・楷書、行書、草書の書体の区別がつけられるか。 ・行書の特徴を具体的に言えるか。	28
	10月	・行草書の学習(古典の臨書と鑑賞) 蘭亭序	・くずして書く行草書には和らぎや流れが生まれ多様な表現ができる事に気付かせる。 ・行草書を正しく書くためには筆路を正確に読み取りそれを覚えなければならぬ事に気付かせる。	・行書の用筆、運筆を身につけることができたか。 ・正しいくずしで書く事ができたか。	
	11月	争坐位文稿 風信帖 真草千字文 ・行草書作品制作(半切臨書作品)	・くずして書く事により文字を間違えて書く事がないよう配慮する態度を養う。 ・線の長短・細太・曲直、余白のとり方に注意することで形が整う事に気付かせる。 ・運筆の緩急、筆圧の変化、筆脈に注意させる。 ・書聖王羲之について理解させる。	・筆脈を生かして形良く書く事ができたか。 ・一文字のまともだけでなく文字と文字のまとも意識して書く事ができたか。	
	12月	漢字の書・隷書・篆書 ・隷書の成立と特徴	・三筆のひとり空海について理解させる。 ・隷書や篆書に触れる事で五書体の概観を捉え漢字の変遷に興味を持たせる。	・王羲之や空海について理解したか。 ・漢字には五つの書体がある事を理解したか。	

		・篆書の成立と特徴		毎時間ごとの授業態度、提出物で評価します。教科書道具等の忘れ物はしないように。
3 学 期	1月	漢字かな交じりの書		
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな線による表現</li> <li>・線質の調和による表現</li> <li>・紙面構成のバリエーション</li> <li>・創作作品制作</li> <li>自分で選んだ言葉や詩文で書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起筆の穂先の向きによって様々な線が引けることに気付かせ</li> <li>・横画が右上がりか水平か、文字の外形が縦長か扁平かでも文字の</li> <li>・「漢字の書」で臨書した古典の表現にも関連させて臨書学習の意義</li> <li>・創作カードを配布し、考えをまとめる様に促す。</li> <li>・考えがまとまったら、草稿を作りさらに案を練る様に促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で漢字かな交じりの言葉を用意してきたか。</li> <li>・穂先の向きの違いで、いろいろな線が引けることを楽しめたか。</li> <li>・一つの文字を雰囲気を変えて書く事ができたか。</li> <li>・紙面構成等工夫していろいろに書き分けられたか。</li> <li>・選んだ言葉でイメージを膨らませ表現する事ができたか。</li> </ul> <p>毎時間ごとの授業態度、提出物で評価します。教科書道具等の忘れ物はしないように。</p>



# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	英語	科目名	必履修 コミュニケーション英語 I	単位数	3	担当者名
教科書	Power On English Communication I						
副教材	Power On スタディーノート / Power On Workbook / 英単語ターゲット1200 / ALL EARS Basic						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	Lesson1 Mt.Fuji A Symbol of Japan	富士山について様々な情報を読み取り、内容について感想を加えて発表する。 動詞の現在形・過去形/未来表現/進行形の理解をする。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	36
	5・6	Lesson2 Sleep in Animals	動物の睡眠についての情報を読み取り、その内容について意見を英語で言う。 比較表現/不定詞/動名詞の理解をする。	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	6・7	Lesson3 Nagatomo Yuto A Long Hard Road to Success	世界で活躍する選手について読み取り、感想を加えてその内容を言う。 現在完了形/SVO(that節)/受け身を理解する。	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	
2 学期	9	Lesson4 Kawaii and Japanese Pop Culture	日本のポップカルチャーが世界でどのように受け入れられているか読みとる。 It is + 形容詞 + to 不定詞/助動詞/関係代名詞を理解する。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	42
	10・11	Lesson5 Banana Paper	バナナペーパーの製造工程と与える影響について読み取り、感想を言う。 S+V+C(be動詞以外) / S+V+O+C(=形容詞)を理解する。	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	12	Lesson6 A Story about Instant Noodles	インスタントラーメンの開発方法について知り、内容を発表する。 S+V+O+C(=現在分詞)(原形) / 助動詞/受け身を理解する。	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	
3 学期	1	Lesson7 The Earth, Our Home!	国際宇宙ステーションおよび地球について理解し、感想を言う。 S+appear +to不定詞/関係副詞where/It is+形容詞+that節を理解する。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	27
	2	Lesson8 Mr. Fija and Uchinaaguchi	ウチナーグチの現状と保護活動について知り、自分の意見を言う。 現在完了進行形/関係副詞when/仮定法過去を理解する。	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	3	Lesson9 The Power to Unite People	ネルソン・マンデラ氏が国を1つにまとめるまでの軌道を読み取り、感想を言う。 過去完了形/未来進行形/分詞構文/強調構文を理解する。	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	英語	科目名	学校必履修 英語表現 I	単位数	2	担当者名
教科書	Vision Quest English Expression I Standard						
副教材	Vision Quest English Expression I Standard WORKBOOK						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	Lesson1 文の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平叙文、疑問文、命令文、感嘆文の構造を理解し、伝えたい内容を英語で表現できる。</li> <li>・自己紹介をクラスの中でペアなり、口頭で表現できる。また、英語で相手の紹介文を書ける。</li> </ul>	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	24
	5	Lesson 2 文型と動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SVC,SVO,SVOO, SVOCの文型の区別ができる。</li> <li>・文型に注意して個々の英文の意味を理解することができる。</li> </ul>	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	6	Lesson 2 自動詞と他動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動詞と他動詞の違いを理解し正しい英文が書ける。</li> </ul>	言語や文化についての 知識・理解	
	7	Lesson 3 時制 (現在・過去)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在形・現在進行形の違いを理解し伝えたい内容を英語で表現することができる。</li> <li>・過去形・過去進行形の違いを理解し伝えたい内容を英語で表現することができる。</li> </ul>	観察・ワークシート・小 テスト	
2 学期	9	Lesson 3 時制 (未来)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意すべき未来表現(時・条件を表す副詞節・確定した未来・未来の予定)を理解し伝えたい内容を英語で表現することができる。</li> <li>・will, be going toの使い方を理解できる。</li> </ul>	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	28
	10	Lesson 5 助動詞	can/could/ may/ might / must / have to do / should / had better do / will / would / used to do などの表現を学び、伝えたい内容を英語で表現することができる。	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	11	Lesson 6 受動態	第4文型 (S+V+O+O)、第5文型 (S+V+O+C)の受動態やby以外の前置詞を用いた受動態について理解し、伝えたい内容を英語で表現できる。	言語や文化についての 知識・理解	
	12	Lesson 4 動詞の形を決める①	現在形、現在進行形、will、未来進行形、現在完了形、現在完了進行形などについて学習し、様々な時制の形について知る。	観察・ワークシート・小 テスト	
3 学期	1	Lesson8 動名詞	動名詞の用法、意味上の主語、否定形や動名詞と時制の関係について理解し、伝えたい内容を英語で表現できる。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	18
	1.2	Lesson9 分詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分詞構文について理解し、伝えたい内容を英語で表現できる。</li> </ul>	外国語表現の能力 外国語理解の能力	
	2.3	Lesson 10 関係詞	関係副詞の用法や複合関係詞について理解し、伝えたい内容を英語で表現できる。	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小 テスト	

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	情報	科目名	必修	社会と情報	単位数	1	担当者名
教科書	社会と情報Next (数研出版)							
副教材	社会と情報Next サポートノート(数研出版)							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	オリエンテーション 情報とメディアの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でやることの説明</li> <li>・CALL教室の利用方法の確認</li> <li>・情報の特徴、表現形式</li> <li>・デジタル情報の特徴</li> </ul>	ノート提出	12
	5	コンピュータの活用 タイピング練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェアとソフトウェア</li> <li>・タイピングソフトによる練習</li> </ul>	制作物の提出	
	6	情報社会と情報モラル タイピング練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会が人に及ぼす影響</li> <li>・タイピングソフトによる練習</li> </ul>	ノート提出 制作物の提出	
	7	定期試験 タイピング練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験実施</li> <li>・タイピング速度の記録</li> </ul>	期末考査 制作物の提出	
2 学期	9	情報社会と情報モラル Word実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット、電子メールの活用</li> <li>・文字の入力、変換など</li> <li>・文章の保存</li> </ul>	ノート提出 制作物の提出	14
	10	情報社会と情報モラル Word実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットトラブル、ネット詐欺</li> <li>・文字の設定(サイズ、色など)</li> <li>・文字揃え</li> </ul>	ノート提出 制作物の提出	
	11	情報社会と情報モラル Word実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ、暗号化</li> <li>・図形の挿入</li> </ul>	ノート提出 制作物の提出	
	12	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験実施</li> </ul>	期末考査	
3 学期	1	情報社会と情報モラル Word実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なコンピュータの利用</li> <li>・罫線の書き方</li> </ul>	ノート提出 制作物の提出	9
	2	情報社会と情報モラル Word実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産権、著作権</li> <li>・「案内」文書の作成</li> </ul>	ノート提出 制作物の提出	
	3	定期試験 情報社会と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報</li> <li>・定期試験実施</li> </ul>	ノート提出 期末考査	

# 令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

1学年	教科名	総合的な探究の時間	科目名	必修 人間と社会	単位数	1	担当者名
教科書	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」(東京都教育委員会)						
副教材	課題研究メソッド よりよい探究活動のために (啓林館)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	ガイダンス SDGsの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間と社会の科目について、探究の過程について理解する</li> <li>SDGsについて理解する。</li> <li>インターネット検索の方法について学ぶ。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	12
	5	SDGs調査発表会 問いのはじまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が調べた内容を他者へ発表する力を身に着ける。</li> <li>他者が調べたSDGsの内容について知る。他者の発表に対して質問する力を身に着ける。</li> <li>自分が調べた内容について、自ら問いを立て、その問いに対して仮説を立て、問いを深める力を身に付ける。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
	6	リサーチクエストを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文献調査だけでは解決できない課題を見つけ、リサーチクエストを見つける力を身に付ける。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
	7	研究の方法について知る 検証計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携し、研究の方法、特に実地調査の方法について学ぶ。</li> <li>リサーチクエストについて、自らの仮説を立証するための検証計画を立案する力を身に付ける。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
2 学期	9	事業所調べ	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ先の事業所について調査する。また、事業所への探究課題に関するインタビュー項目についても考える。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	14
	10	事業所アポ取り 事業所訪問 図書館活用講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所訪問を電話でアポイントを取る方法について学ぶ。</li> <li>インターンシップ先に事業所を訪問し、インターンシップ実施時の注意等について知る。また、探究内容に関するインタビューを行う。</li> <li>図書館を活用した、探究の方法について知る。具体的にはテーマを基に、資料やデータを効率よく探す方法について学ぶ。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
	11	体験活動 体験活動 体験活動 お礼状	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ実施</li> <li>インターンシップ実施</li> <li>インターンシップ実施</li> <li>インターンシップ先へのお礼状を書くことで、実地調査協力者へのマナーについて学ぶ。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
	12	インターンシップ発表会準備 インターンシップ発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションを作成することで、表現力を育成する。</li> <li>発表を行うことで、口頭で伝えるための表現力を育成する。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
3 学期	1	働くことの意義 働くことの意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップの経験を活かし、職業観を広げる。</li> <li>職業調べを行い、進路意識を高める。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	9
	2	学ぶことの意義 学ぶことの意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の探究の過程及びインターンシップを通して、学業観を広げる。</li> <li>上級学校調べを行い、進路意識を高める。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	
	3	振り返り 探究成果発表会準備 探究成果発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の振り返りを行い、知識や経験の定着を図る。</li> <li>プレゼンテーションを作成することで、表現力を育成する。</li> <li>調査内容を共有し、質疑応答を繰り返すことで、課題研究に対する認証性を高める。</li> </ul>	教員による観察記録 学習記録 レポートなどの制作物	